

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.8
Q1 室内環境			0.36		-		3.4		
1 音環境		3.0	0.15	-	-		3.0		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		3.2	0.35	-	-		3.2		
2.1 室温制御		4.6	0.50	-	-				
1 室温	冬季24℃、夏季24℃の室温の為の設備容量	5.0	0.38	3.0	-				
2 外皮性能	U: 壁面0.90W/m <sup>2</sup> K、窓システム3.08W/m <sup>2</sup> K、SC: 窓システム0.37	5.0	0.25	3.0	-				
3 ゾーン別制御性	ゾーン別の空調及び冷房、暖房の切替えが可能な空調システム	4.0	0.38	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		3.5	0.25	-	-		3.5		
3.1 昼光利用		2.2	0.30	-	-				
1 昼光率		1.0	0.60	3.0	-				
2 方位別開口		-	-	3.0	-				
3 昼光利用設備	トップライト	4.0	0.40	3.0	-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-				
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-				
3.3 照度	タスク・アンビエント照明の採用及び照度の確保	5.0	0.15	3.0	-				
3.4 照明制御	1作業単位での照明制御、リモコン制御	5.0	0.25	3.0	-				
4 空気質環境		3.9	0.25	-	-		3.9		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	規制対象外建材の採用	4.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.0	0.30	-	-				
1 換気量	35m <sup>3</sup> /h以上	5.0	0.33	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-				
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視	CO <sub>2</sub> 濃度制御	5.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御	屋外喫煙スペース	5.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.6		
1 機能性		3.9	0.40	-	-		3.9		
1.1 機能性・使いやすさ		3.6	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応	OAフロア、コンセント容量50VA/m <sup>2</sup> 以上	5.0	0.33	3.0	-				
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-				
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	天井高2.7m以上、窓の設置	4.0	0.33	3.0	-				
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースと自動販売機	5.0	0.33	-	-				
3 内装計画	コンセプトと求められている機能とその取り組み、照明計画、パース	5.0	0.33	-	-				
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	清掃員控え室、洗い場・乾燥スペース、清掃用流し等	4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30	-	-		3.6		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた25%増の耐震性	4.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ガルバリウムダクト、ステンレスダクト、塩化ビニルダクト	5.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水: 塩ビライン管(B)、汚水排水・通気: 硬質塩化ビニル管(B・A)、E不使用	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.4	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備	節水型器具、受水槽に飲料用蛇口、雨水利用	4.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備	サーバー室、地下空間への非設置、CATV	4.0	0.20	-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.141	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>2.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	予備空調管、予備スペース	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.34	-	-	<b>4.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		既存緑地の保存、外構緑化指数50%以上、等	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		植栽計画、既存緑地の保存、流線型の外観	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>4.5</b>	0.30	-	-	<b>4.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		ピロティ、ウッドデッキ、見通しの良い植栽計画、WEBアンケート、等	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>		GL+10m以上の空調設備、高温排熱、緑地面積の確保、等	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPIm=0.81	<b>4.9</b>	0.11	-	-	<b>4.9</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		開閉式トップライト	<b>4.0</b>	0.11	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm=0.63	<b>4.7</b>	0.55	-	-	<b>4.7</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.5</b>	0.22	-	-	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.5</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	モニタリングシステム	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>4.2</b>	0.20	-	-	<b>4.2</b>
<b>1.1 節水</b>		擬音装置付便器	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>4.4</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用率24%	5.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.11	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.22	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		【天井】石膏ボード：ソーラトン(吉野石膏株)	3.0	0.22	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>		-	-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		LGS壁下地	5.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>2.7</b>	0.20	-	-	<b>2.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>2.6</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率73%	<b>4.0</b>	0.33	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>		敷地環境の現地測定、隣棟感覚指標=4.18、LR1スコア=4.3、等	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場の確保、搬入車両用の駐車スペース、展開スペース、等	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.8</b>	0.33	-	-	<b>2.8</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>2.3</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	